

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 22 日

1. 職名・氏名 助教・梅津千香子

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 日本赤十字看護大学大学院、
授与年 平成 31 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 在宅看護論（1 単位）2 年次
②内容・ねらい 在宅看護では、自宅やそれに準じた環境で生活を営む療養者および家族を対象に、看護・医療・福祉・保健のあらゆる面から、QOL を高めることを目指し、多職種と連携・協働しながら、看護の役割を果たすことが求められている。そのための基本となることごとについて学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身が主体的に考える力を養うことを目的として、予習や復習等の授業外学習課題を設定した。授業外学習の内容を授業内で確認し、学生の習熟度に合わせて積極的に質問を受け、学生個々が自律して学習課題に取り組み、学ぶ力を高めることができるよう心掛けた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 在宅看護演習（1 単位）3 年次
②内容・ねらい 在宅看護論で学んだ知識を基に、自宅やそれに準じた環境で生活を営む療養者および家族に対して看護の提供ができるよう、在宅看護展開に必要な知識や、実践的な看護技術について学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身が主体的に考える力を養うことを目的として、予習や復習等の授業外学習課題を設定した。授業外学習の内容を授業内で確認し、学生の習熟度に合わせて積極的に質問を受け、学生個々が自律して学習課題に取り組み、学ぶ力を高めることができるよう心掛けた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 在宅看護実習（2 単位）3 年次
②内容・ねらい 県内の訪問看護事業所において訪問看護師に同行し、在宅療養者および家族の QOL を保障する看護について学ぶ。この実習によって、病院から退院し、在宅療養を開始する人々に必要な支援が提供できる基礎的能力を身につける。さらに、在宅療養者および家族の尊厳を保障する看護実践の基礎となる能力を培う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 日々の実習終了報告時には実習内容の確認とその日の実習で生じた疑問や質問について積極的に質問を受けた。学生の実習記録から学びを丁寧に読み解き、学生教員間で共有できるように心掛けた。学内まとめでは他の事業所での実習学生と学びを共有する機会を持ち、幅広い視野で在宅看護を考える力を培うように工夫した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 在宅看護発展セミナー（1 単位）4 年次
②内容・ねらい 地域で自立・自律的に実践する看護師の機能や役割について学ぶ。各自テーマを設定し、文献等で学習、実際の在宅看護現場に出向き、ケアマネジメントの視点を含めた療養者とその家族のアセスメント、多職種との連携・協働のあり方を検討する。さらに実践現場の看護職や介護職とのディスカッションを通して、包括的在宅ケアのあり方を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生各自が設定した興味・関心のあるテーマの理解を深めるために必要な視点を助言し、最終的には各自の学びをプレゼンテーションで共有し、他学生や教員とのディスカッションを通じて理解を深められるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 家族看護論（1 単位）2 年次
②内容・ねらい 様々な家族の形態や特性を知り、看護援助に必要な基本的知識、概念、理論、技術を学ぶ。また、家族看護学の基礎となる自らの家族観を醸成する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身が主体的に考える力を養うことを目的として、予習や復習等の授業外学習課題を設定した。授業外学習の内容を授業内で確認し、学生の習熟度に合わせて積極的に質問を受け、学生個々が自律して学習課題に取り組み、学ぶ力を高めることができるよう心掛けた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3 単位）4 年次
②内容・ねらい 「在宅看護」・「訪問看護」・「家族看護」・「退院支援」・「ケアマネジメント」をキーワードとし、在宅療養する人とその家族を対象として、健康的な日常生活を支える訪問看護の実践に関する研究の基礎を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の興味・関心のある研究テーマを自らで設定できるように主体性を尊重した。研究テーマに関連する参考文献や参考図書を紹介し、自律して取り組めるようにサポートした。研究計画書の構成など、学生の習熟度に合わせて積極的に質問を受け、研究の継続性を支持した。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等 ・ 地域におけるオストメイトの療養生活支援のための教育プログラム開発—訪問看護師による支援の現状と課題—、日本看護研究学会 第 33 回 近畿・北陸地方会学術集会（2020 年 3 月 21 日）、共同研究者：普照早苗、佐藤文、梅津千香子、竹内智子 ・ 地域におけるオストメイトの療養生活支援のための教育プログラム開発—オストメイトの療養生活上の困りごとの現状と課題—、日本看護研究学会 第 33 回 近畿・北陸地方会学術集会（2020 年 3 月 21 日）、共同研究者：佐藤文、普照早苗、梅津千香子、竹内智子	【2 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・ 2019 年度－2020 年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） ・ 2020 年度 厚生労働科学研究費補助金 長寿科学政策研究事業	
【学内】 ・ 2020 年度 福井県立大学看護福祉学部競争的研究費	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・ 公益社団法人 日本看護科学学会 和文誌専任査読委員（2019 年～現在に至る）	

5. 地域・社会貢献活動

⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 (事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間) ・勝山市地域包括センター事例検討会講師、2019年～現在に至る ・JCHO 福井勝山総合病院訪問看護研究指導、2019年～現在に至る ・JCHO 福井勝山総合病院訪問看護実践評価の分析業務・コンサルタント業務（分析結果に基づく強化点の助言）、2019年～現在に至る ・FAA 学ぶならふくい！応援事業（福井版 PBL 事業）採択共同研究テーマ「新卒訪問看護師養成に向けて訪問看護事業所による教育体制の整備」、2020年～ ・福井県看護協会主催の実習指導者講習会における講義（担当科目：在宅看護論）、2020年～ ・福井赤十字病院の看護研究学会発表論文執筆指導および研究指導、2020年～ ・「新卒訪問看護師の育成に向けた研修セミナー」、福井県立大学と福井市内訪問看護事業所とのリモート開催、2020年～ ⑥公開講座・オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講 (タイトル名、開催場所、開催日時) ・福井県立武生高校学部学科探究講座出張講義、福井県立武生高等学校と福井県立大学とのリモート開催、2020年10月16日

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・1年生学年副担任（看護学科内） ・実習検討委員会（看護学科内） ・フィンドレー国際交流WG（看護学科内） ・図書委員会（看護学科内）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
・一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会主催 エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座修了、2020年1月19日 ・国立長寿医療研究センター主催 ACP (Advance Care Planning) ファシリテーター養成研修会参加、2020年2月22日 ・ACP (Advance Care Planning) 地域の取組および課題の情報交換懇親会参加、2021年2月28日 ・放送大学教養学部科目履修「人口減少社会の構想」、「家族問題と家族支援」、2020年4月～ ・放送大学大学院文化科学研究科科目履修「家族生活研究—家族の景色とその見方—」、2020年4月～ ・ハラスメント防止に関する教員・職員向け研修会、2020年12月23日